

復興信じ桜植樹会参加

内陸避難の佐藤さん

陸前高田



植樹したサクラに目印をつける佐藤明さん（右）ら

陸前高田市米崎町出身で、震災後盛岡市に避難している鍼灸師佐藤明さん（57）は22日、陸前高田市の津波到達点にサクラを植樹するNPO法人桜ファン311（岡本翔馬代表）の活動に参加した。仲間と一緒に植樹した佐藤さんは「ずっとときれいに咲き続けてほしい」と願い、古里への思いを新たにした。

植樹会は同市気仙町で行われ、県内外から約100人が参加。急斜面に穴を掘ってオオヤマザクラ31本を植え、シカよけのネット

を巻き付けた。

佐藤さんは2011

年4月から盛岡市緑が丘で避難生活を続ける。鍼灸治療院を営みながら、被災者支援団体「ふくしま岩手」（事務局盛岡市高松4丁目、千葉健一代表）の事務局長を務め、同市に避難する被災者の交流の場などを開いていく。

以前、同団体の活動

で同NPO法人を題材とした映画の上映会を開催。実際に植樹に参加しようと呼び掛け、今回は同団体の有志7人と一緒に参加した。佐藤さんは「ずっときれいに咲き続けてほしい。盛岡から古里の支援を続け、いつか必ず戻ってきたい」と汗を流した。